



いたびつ 板櫃 <校訓>
真理の探究
自主躍進

令和6年4月30日(火)発行
校長 栗原 博巳

北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>

自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～

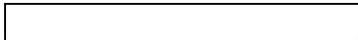
<目指す生徒像>

- ① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
- ② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
- ③ 思いやりの心をもち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
- ④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

～大型連休(GW)中に気を付けたいこと～

4月27日(土)から始まった大型連休(ゴールデンウィーク)は、様々な計画を立てている人も多いと思います。しかし、全国的には感染症による学級閉鎖もあっているようです。昨年より、マスクの着用等は個人の判断にゆだねられていますが、人ごみの中ではお家の方と相談しながら判断するといでしょう。ただし、気温が高い日はマスク着用は気を付けてください。3年生は、5月24日に社会見学、1年生は5月16日・17日にふれあい合宿を控えています。リフレッシュしながらも、感染防止に関して基本的な感染予防策をとってください。

また、大型連休期間中は、生徒指導上の問題行動や事件・事故等の発生が懸念されます。ついては、下記の点を踏まえ、長期休業期間中と同様に安全で楽しい休暇になるようにご家庭でもお話ををお願いします。



とはいえ、私自身も30年以上、部活動の顧問をしていましたので、大型連休期間中はほぼ大会、練習試合でした。子供も2人とも運動部(陸上・バドミントン)で、大型連休期間中のほとんどは練習試合、遠征、大会、記録会でした。少ない時間の中でも、休みの日をそろえて旅行に行っていました。旅行先で、同じ学校の先生の家族と全く同じルートだったことには驚きました!

農業用の用排水路及びため池への転落事故防止及び河川水難事故防止について

このことについて、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課より連絡がありました。大型連休期間(ゴールデンウィーク)から学校等の夏休み期間にかけて、農業用水路・河川等での事故の多発が懸念されます。

つきましては、学校でも機会をとらえながら指導していきますが、ご家庭でもお子様に下記の内容について、お話しいただけますようお願いいたします。

本来、河川は、公共の利益や他人の活動を妨げない限りにおいて、自由に使用できることが原則であり、釣りや水遊びなど自らの意思に基づき行動する限りその際の安全確保は自己責任において行うべきものです。しかしながら、全国各地で急な増水等による水難事故が起きていることを踏まえ、国においては、河川利用者が危険回避に役立てていただけるよう「川の防災情報」を提供しています。みなさんも河川を利用するときには、降雨等の天気予報や川の特性に注意しながら、川の安全利用を心がけていただきますようお願いいたします。

1 河川で遊ぶときには

- 大人と一緒に行く。子どもだけでは遊びに行かない。
- 必要な道具(ライフジャケット・運動靴・ヘルメット等)を準備する。
- 行き先の天気を調べていく。大雨注意報・警報が出ている場所には行かない。
- 遊泳禁止区域等、危険箇所では決して遊ばない。



2 河川水難事故を防ぐには

- 河川が氾濫してからでは遅いので、早めに避難すること。
- 避難が遅れた時には、建物の高い場所に避難すること。
- 川の様子が急変する前兆(山鳴り・増水、水の濁り、流木・減水・腐った土や火薬のようなにおい等)があれば、避難すること。



※河川水難事故は毎年多発しています。